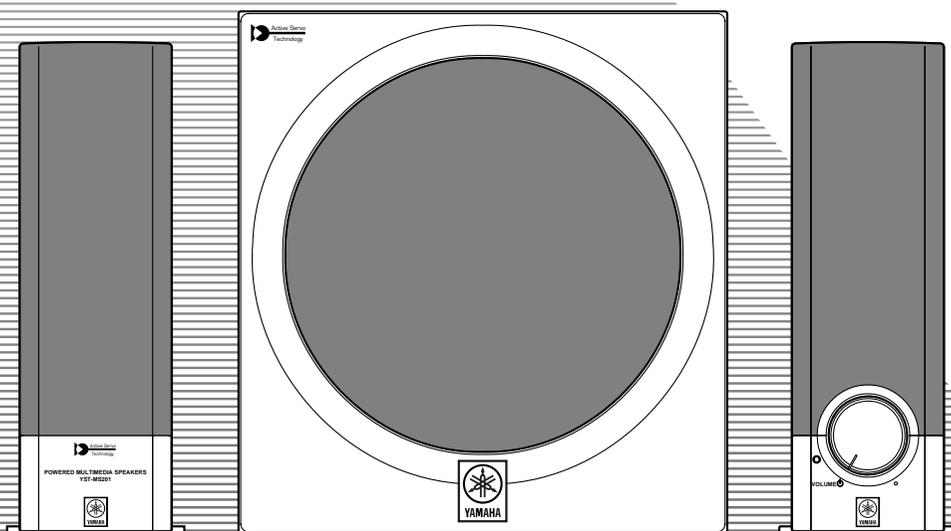
POWERED MULTIMEDIA SPEAKERS

YST-MS201

取扱説明書

目次

安全上のご注意　（安全に正しくお使いいただくために）

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

- この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

絵表示	説明
	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示	内容
	● 本機に水を入れたり、ぬらさないようにご注意ください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続したり、表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	● 風呂場で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機を水滴などが落ちる場所に設置しないでください。火災・感電の原因となります。
	● 本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となったり、ケガをする恐れがあります。
	● 本機の上に火のついたローソクなどを置かないでください。火災・感電の原因となったり、火傷をする恐れがあります。
	● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	● 万一、本機を落としたり、損傷した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 加湿器を使用する場合は、本機との間に十分なスペースをとり、加湿しすぎないようにしてください。結露すると、本機が故障するだけでなく、火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 移動させる場合は、本機の⏻(電源)スイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、人災・感電の原因となることがあります。
- 接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
- 電源プラグを接続する前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- キャビネットをあけたり、分解しないでください。故障の原因になります。修理が必要な場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

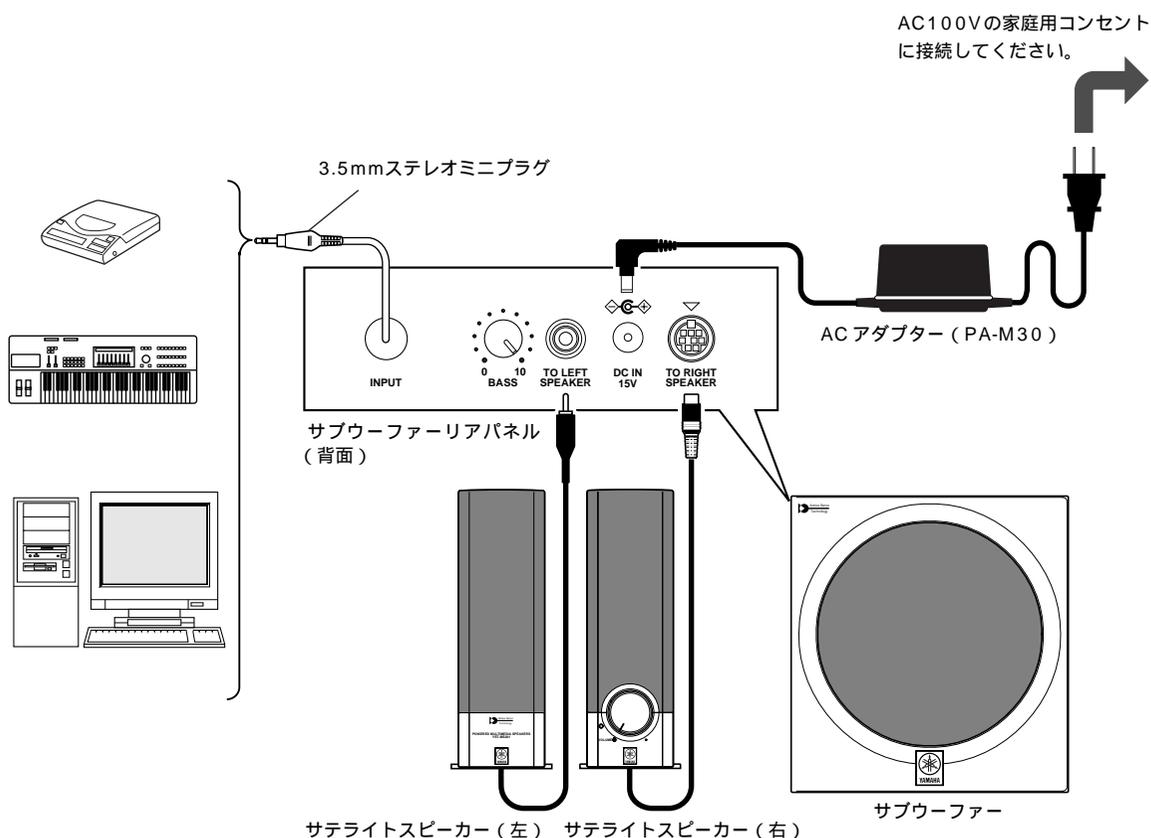
- 本機のつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。
- テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。スピーカーの破損の原因となります。
- 本機は防磁設計となっていますがコンピュータのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。
- 故障と思われるときはただちに使用をやめ電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。
- 本機の電源がオン(サテライトスピーカー(右)の前面にあるインジケーターが点灯)になっているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- ACアダプターは必ず本機に付属(品番:PA-M30)のものをお使いください。それ以外のACアダプターを使用すると、火災や本機の破損の原因となることがあります。

はじめに

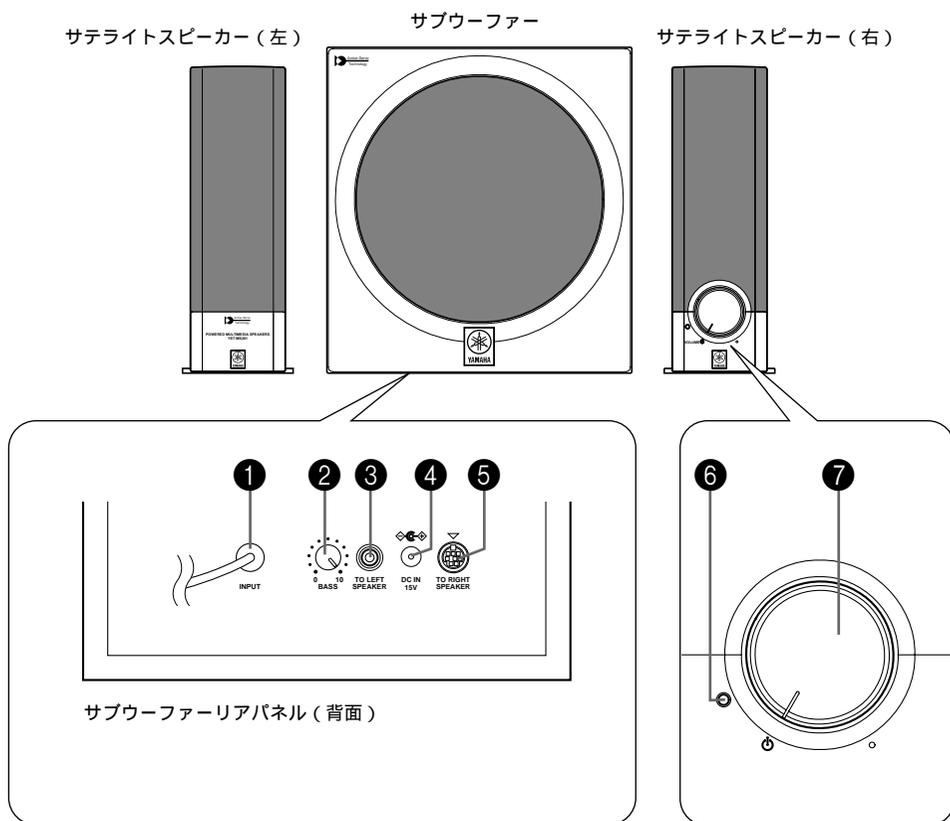
このたびはYAMAHA YST-MS201パワードマルチメディアスピーカーシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
YST-MS201パワードマルチメディアスピーカーシステムはヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジーを駆使し、すぐれたパフォーマンスで、コンパクトながら豊かな低域サウンドを実現します。
YST-MS201スピーカーは、左右のサテライトスピーカーとサブウーファーから構成されています。

付属品：ACアダプター（PA-M30）

接続のしかた

- **接続をおこなう前に、全ての機器の電源プラグをACコンセントから外してください。また付属のACアダプターは、接続が完了した後でサブウーファーに接続してください。**
- 下の図にならい、サブウーファー、サテライトスピーカー、およびその他の機器を接続してください。

※ 接続が完了したら、各機器の電源プラグをACコンセントにさし込んでください。

コントロール部と端子

❶ INPUT（インプット）

ケーブル先端の3.5mmステレオミニプラグをパソコンやCDプレーヤーなど、本機に入力信号を送る機器の出力端子に接続します。

❷ BASSコントロール（バス（ベース））

サブウーファーの低域サウンドの音量を調整します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。音量はお好みにより調整できますが、通常は、1時〜2時の位置で使用することをお奨めします。

❸ TO LEFT SPEAKER（トゥ レフト スピーカー）

サテライトスピーカー（左）のRCAピンプラグケーブルをここに接続します。

❹ DC IN端子（ディーシーイン）

付属のACアダプター（PA-M30）を接続します。

❺ TO RIGHT SPEAKER（トゥ ライト スピーカー）

サテライトスピーカー（右）の8ピンケーブルをここに接続します。

❻ インジケーター

本機の電源がオンの状態のときに点灯します。

❼ 電源／VOLUMEコントロール（ボリューム）

本機を使用するときはツマミをゆっくり右に回します。カチッと音がしたところで本機の電源が入り、インジケーター（❻）が点灯します。
さらに右に回すとスピーカーシステム全体の音量が上がります。左に回すと音量が下がります。
本機の使用を終了するときは、ツマミをカチッと音がするまで左いっぱいに回します。本機がスタンバイ状態*になり、インジケーター（❻）が消灯します。

＊：スタンバイ状態とは、電源が完全に遮断されているのではなく、極くわずかな電力が消費されている状態です。

故障かな？と思ったら

本機が正常に機能しない場合は、下記の表に従ってチェックしてください。表に記載されていない場合、あるいは問題が解決しない場合は、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはサービス拠点にご相談ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
スピーカー／サブウーファーから音がきこえない。	電源プラグがコンセントにしっかりさし込まれていない。	電源プラグをコンセントにしっかりさし込みなおしてください。
	電源／VOLUMEコントロールが左いっぱいにセットされている。	電源／VOLUMEコントロールを右に回して電源をオンにしてください。（コントロール左横のインジケーターが点灯します。）
	入力信号のレベルが低すぎる。	接続機器側の音量を上げてください。
	接続不良。	接続をやり直してください。
低音がきこえない。	BASSコントロールが“0”の位置になっている。	サブウーファーのBASSコントロールを右に回して音量を上げてください。
音が歪む。	入力信号のレベルが高すぎる。	接続機器側の音量を下げてください。
ノイズが気になる。	接続が不良または不完全。	接続をやり直してください。

参考仕様

タイプ	ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー方式
スピーカーユニット	
サテライト	8.5cm×4.5cm コーンタイプ、防磁型
サブウーファー	12cmコーンタイプ、防磁型
アンプ出力	
サテライトスピーカー	6W＋6W（1kHz、4Ω、10%T.H.D）
サブウーファー	18W（100Hz、4Ω、10%T.H.D）
入力感度	200mV（1kHz、6W／4Ω）
入力インピーダンス	20kΩ
再生周波数帯域	サテライト／サブウーファー　45Hz～20kHz
定格電源電圧	AC100V、50/60Hz
寸法（幅×高さ×奥行き）	
サテライトスピーカー	70×195×145mm
サブウーファー	193×207×214mm
重量	
サテライトスピーカー	0.6kg（右）、0.5kg（左）
サブウーファー	2.8kg
付属品	ACアダプター（PA-M30）×1

※仕様は予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● 保証期間
お買い上げ日より1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み
- ◆ **技術料**　故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ◆ **部品代**　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ◆ **出張料**　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持ち込み修理のお願い
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品番、製造番号は本機背面に表示してあります。

● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお薦めします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

YAMAHA

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV国内営業部　TEL (053) 460－3451
AV･IT品質保証部　TEL (053) 460－3405
住所および電話番号は変更になることがあります。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター
TEL (03) 5488－5500
ご相談受付時間　10:00～12:00，13:00～17:00
(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは
(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道	〒064-8543　札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 512 - 6108
仙　台	〒984-0015　仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236 - 0249
首都圏	〒211-0025　川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434 - 3100
浜　松	〒435-0016　浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 TEL (053) 465 - 6711
名古屋	〒454-0058　名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652 - 2230
大　阪	〒565-0803　吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 6877 - 5262
広　島	〒731-0113　広島市安佐南区西原6-14-14 TEL (082) 874 - 3787
四　国	〒760-0029　高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内 TEL (087) 822 - 3045
九　州	〒812-8508　福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472 - 2134

愛情点検

★永年ご使用の本機の点検を！

こんな症状はありませんか？
- ● 電源コード・プラグが異常に熱い。
- ● コゲくさい臭いがする。
- ● 電源コードに深いキズか変形がある。
- ● 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- ● 電源を入れても正常に作動しない。
- ● その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

Printed in China　V664800